

我々歯科が出来ること～在宅療養において～



自宅へ訪問します



大船渡市国民健康保険歯科診療所
熊谷優志

皆さんは、歯科医師は何が出来ると思いますか？

むし歯の治療

歯の抜歯

歯槽膿漏の治療

入れ歯の治療

…これらを基に、めざす
ところは…

生活の質
(QOL)の向上

「歯科医療の目的は“食べる”、“話す”など、『生きる力を支える生活の医療』である」

日本歯科医師会2005年より提唱

歯科医療の目的:

「**歯の治療**」から「**食べる幸せ**」へ

低栄養の実態～高齢者の場合

入院中の高齢者・施設入所中の高齢者の

→約4割が低栄養

在宅で介護を受けている場合は

→約3割が低栄養

肺炎が
おこりやすく、
治りにくい

起き上がる
ことが出来
なくなる

床ずれ(傷)
ができやすく、
治りにくい

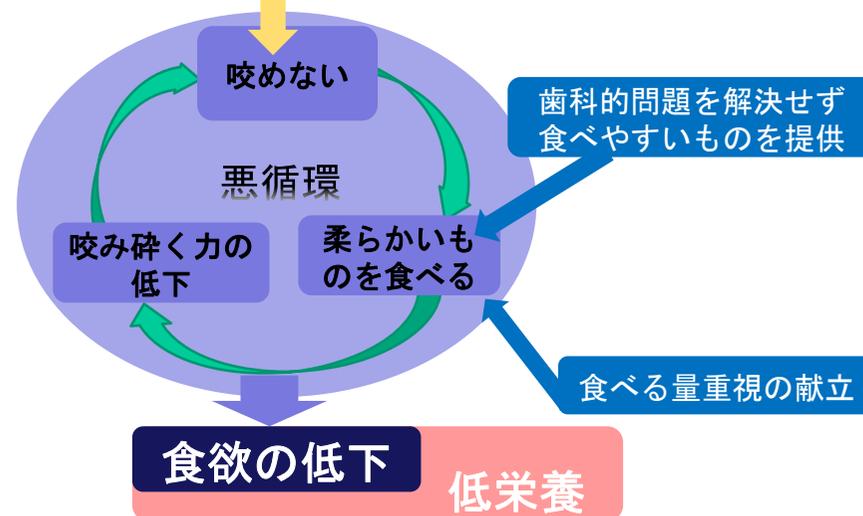
うつ状態

あきらめ

孤独感

低栄養につながる悪循環

不十分な歯科治療・口腔ケア





3月27日



5月15日

栄養が改善されると...



6月12日

	体重	栄養状態の数値
H17.2.16	55kg	4.3g/dl
18.3.02	42kg	2.4g/dl
3.27	46kg	3.3g/dl
5.15	46.8kg	3.7g/dl
6.12	48.5kg	4.0g/dl

佐々木勝忠先生の症例

栄養を改善することによって

運動機能の向上

肺炎などの合併症予防



最良栄養摂取法：口から摂取

QOL向上
喜びや満足

歯科治療

口腔ケア

つらさの緩和

治療は、栄養から...、栄養は口から！

歯のかみ合わせと食形態



553
キロカロリー



731
キロカロリー



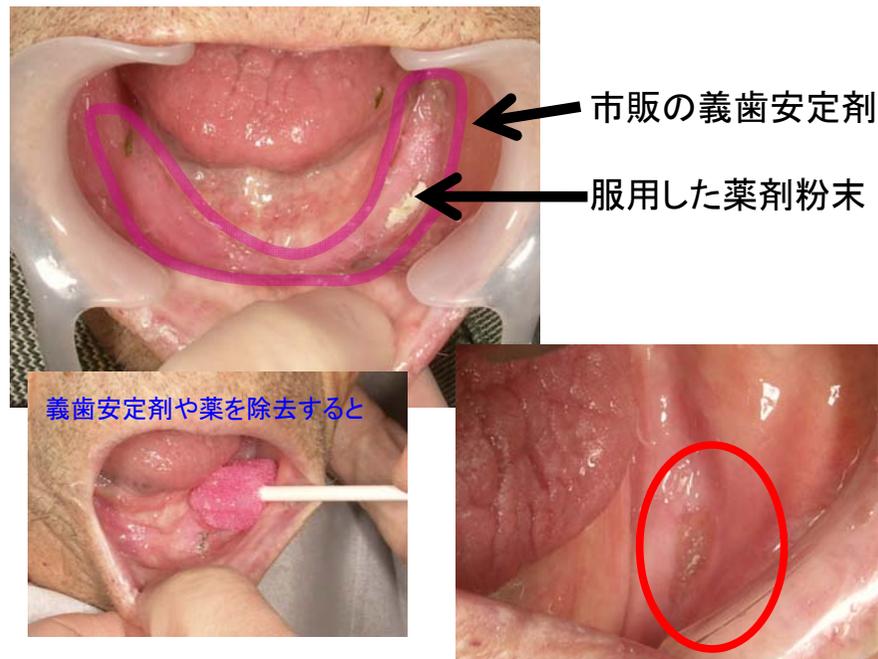
口腔ケアによって



食べられない口
と食べられる口



回診で口腔ケアを依頼されたがん患者 胆沢病院



手術の前には歯科受診

口腔ケアや歯科治療は、がん治療の成功を支える支持療法

例えば

がんの手術後に、肺炎を起してしまうと

集中治療室での治療や入院が延長になり、術後の回復が遅れる



岩手県立胆沢病院

口腔ケアや歯科治療によって肺炎などの合併症を抑制

症例① 70代男性 一時退院し、自宅療養中

義歯の治療によって12月だったので、生のアワビが食べられたと喜ぶ

口から食べられたこと



症例② 70代男性、肺がん

差し歯がとれたと往診依頼

前歯6本分のブリッジがとれて義歯が使えない状態



一度の往診で義歯が使えるところまで応急処置

最期の1週間、しっかり食べられたこと

2016年11月3日

我々歯科が出来ること

- ・口から食べることを支え
- ・栄養摂取を支え
- ・生活の質を向上

手術・抗がん剤治療・放射線治療に
おける口腔ケア

生活や在宅療養を支えること